京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●仁川最近輸入重要品

▲輸入重要品商況

▲洋金巾、晒金巾 農家植付時節に於て降雨少く爲めに農家の購買力を減じ殊に本月は農繁期にて例年商況不振の時季なれば何品に限らず賣行鈍く衣料品の如きは目下閑散を極めつゝあり随て各店とも競爭の意味合みにて坂地商品の下落を期とし互に値段を引下げ努めて低價に販賣しつゝあり

▲和金巾 本品は金巾と同樣夏向きは賣行至て鈍く市場沈靜のまゝ保合へり

▲白木綿 これ亦和金巾同樣取り分けて記すべき事情なし

▲綿絲 前報後大坂市場引續き高値を維持し好況を傳へたるも當市場は農繁期に入り賣行鈍きに拘はらず當市場は輸入の手控と共に漸次品薄を來たし稍手堅く持合ひしも農繁と共に稻移の時期に當り降雨適當なら米作の前途に關し杞憂を懐き地方韓人の出市なく注文品も殆んど皆無の狀況にて當地の相場幾分引下げたるに拘はらず需用起らず輸入も僅に二千餘圓に過ぎざりし

▲煙草 日用品の事とて他商品の如く不振の影響を受けず比較的概して好況を持續しつゝあり就中バムブーは價格低廉の爲め賣行漸次增加しつゝありと云ふ相場は別に變動なく終始保ち合ひたり

▲燐寸 對淸貿易の不振に依り淸國向下等燐寸の捌方に苦しみ韓國に販路を求めんとして續々持ち掛けたる本品は由來荷間の姿なりしに拘はらず阪地商人は品捌方に腐心し相殺らず押付け的に輸入し來たり何時も在荷潤澤にして手持勝なるに當地の商況依然として不振の爲め荷動き捗々しからざるより各店とも賣急ぎの意味にて直ちに競爭の端をらき稍濫賣の姿を呈し是迄値段にくらすを置きたる花童印猿桃印猿演說印等自然押し均して四圓二十錢と云ふ唱へにて其れさへ打崩さんとするの勢なり

▲曹達 本品は外國商館たる三井、廣昌、世昌、ホームリンガー等各商會の輸入に係る特約販賣品を仲介せる商店は各自其販路を擴張せんとするの餘り特約値段に拘はらず競爭賣りの有樣にて一函五圓十錢の見當なりしもの又々四圓八十錢を呼ぶに至り目下夏季のことゝて賣行時節に在り此先如何なる度合にまで引下ぐるか計られざる樣子なりと云ふ

▲麥粉 本品は目下賣行時なるに拘はらず一般商況の不振につれ賣行兎角思はしからず先づ可なりの商狀を呈せり日の出印東鄕印は品切れにて風印旗印目下賣行良し相場は先月以來幾分の差違を來たしたるも大体に於ては差したる相違なし

▲石油 本品は夏季に入りては需用季節外に屬し目下賣行捗々しからず只小口のものゝ賣行弗々あり相場は幾分引下がり勝利は十二鑵旗印は七錢の下落を呈せり九月以降に至らざれば活潑なる商狀を見難かるべし

▲砂糖 本品は麥粉と同樣の商況にて何は賣行季節中のことゝて引續き弗々の賣行きあり本品は地方の韓人向を韓人の菓子屋に賣行くもの地場の需用よりも遙かに多し該賠瓜西瓜其他の果物出廻はるまでは相應の賣行あるべし

中山大納言

第九席 桃川燕玉演

越中守殿が驚いて「どうも備前めは此越中を目の敵にして居る、いやどうも困つた人物……コレ〳〵佐次右衛門、其方神奈川へ參つて斯樣々々斷つて參れ」と早速書面を書いて笹野佐次右衛門といふ者に御渡しなすつた。佐次右衛門神奈川臺の備前家の御本陣へ來て「主人越中守より御返書を差上げる折角御招待下されましたるが何分病氣でござつて出來ねまするから、宜しく御斷りを申上げ下さいまするやう……」そこで越中樣の返書を太守へ御覧に入れると

御芳簡拜見仕候 先以て御道中御無事にて其御宿まで御着の由恐悅至極に奉存候 拙者永々上京心氣の疲より微恙に罹され殊の外難儀仕候然るに貴殿には神奈川臺にて御遊漁の由 御羨敷奉存候 拙者をも御招きに預り千萬忝く存候得共昨夕より腰の邊に痛みを覺え起居自由ならず難澁罷在候間御好意には背き候得共此儀は御斷り申上候江戸表御着の上にて右御禮可申上候恐惶謹言

月 日 越中守

內藏頭樣

としてございます。備前の太守之を御覧になつて 內「コレ玄番、其方越中の許へ參つて斯樣々々申し、越中を困らしてやれ」 玄「ハ、ツ」そこで呼出したのが今度備前樣の上方へ往つしやるに就て、江戸から伴れて御出になつた柳橋の藝者で小梅、小竹、峯吉と申します皆腕ッこきの恐ろしい藝者が三人、大伴玄蕃といふ備前樣の家來が伴れてやつて參りました 玄「さて主人內藏頭より御見舞として小竹、小梅、峯吉なる者を差上げます、此書面越中守樣へ御差上げ下し置かれるやう」○「ハ、ツ……何だ別嬪が三人、是れが主人の病氣見舞、大變な病氣見舞を持つて來た……暫く御控へ下さい」と越中樣へ申上げるから、越中樣開いて御覽なさると

御返書拜讀貴所御病氣殊の外御難儀の由御氣之毒に奉存候 依て拙者方へ抱ゐ置候按摩の役人兩三人御見舞の爲御介抱に差上候間御上より御腰の邊御足なりとも御遠慮なく御揉ませ可被成候殊更夜中の熱拂には至極名人に候へば緩々御差置可被成候先は御見舞まで如此に御座候

越中樣 內藏頭

としてある、越中樣驚いた 越「コレ、見舞を遣はしたとあるが何だそれは 侍「エー藝者が三人 越「ナニ藝者が三人、藝者とは何だ 侍「左樣ムいます柳橋と申す處に居ります藝妓所謂歌妓でございまして…… 越「ハ、ア何か藝者と申す賤業を營む女子共であるか左樣な者は要らぬ病氣は治つたと云つて逐還してしまへ 侍「ハッ」越中樣の御家來本多齋といふ人が出て來て 齋「イヤ折角御見舞を下し置かれ忝いが、主人越中最早病氣は全快を致しましたに依り御見舞の婦人は御斷り申上げます、速にどうか御伴歸りを願ひたい」之を聽くと備前樣の御使が 玄「イヱ主人申付には、是非〳〵差上げ罷り歸れとの儀でございます、どうも手前召連れ歸る譯に相成りませぬ、コレ〳〵御見舞物の衆默つて居てはいかぬから、何とか言はつしやい」言ふと小竹に小梅峯吉といふ三名 小「アゝどうぞ殿樣へ左樣仰しやつて下さい、私共は內藏樣から御見舞に此方に參つた者、越中樣に御目に掛らなければ此儘歸る譯になりませぬ、是非御目に掛るやうに貴所取次いで下さい、御目に掛りませぬうちは一寸も此處は動きませぬよ」齋「そんな事を申しては甚だ困る、どうか歸つて貰ひたい 小「イヱ何と仰有つたつて、越中樣に御目に掛りませぬうちは一寸も此處を動きは致しませぬ、殿樣へどうぞ逢はして下さい」大きな聲で我鳴つて居るから越中樣の御居室に手に取るやうに聞ねる 越「コレ〳〵源六、參つて早々逐拂つてしまへ 源「ハ、ッ」吉井源六といふ軀幹六尺ばかりございます筋骨逞しい鬼のやうな武骨な人がやつて來て 源「コレ〳〵、其處で喧しく饒舌り立つてはいかぬ、靜に致せ〳〵、ア、此方御主人は最早御病氣御全快になつた貴樣等のやうな見舞物は要らぬから早々罷り歸れ 小「冗談言つちやア可ませぬよ、歸れと仰有たつて、此儘歸つて御覽なさい內藏樣の御前をしくぢつて仕舞はなきやならない、何でも此方の殿樣に御目に掛りませんければ動きはしませぬから、どうぞ殿樣へさう仰有つて下さい」サア三人ががや〳〵どうも饒舌くるが、なか〳〵饒舌な女、忽ち言ひ籠められて仕舞つてグウとも言へない、弱つて居る。



京城新報

地方金融變調

曾て目賀田顧問時代に於て收税事務を地方官より取上げて之を正當なる出務官及收税官吏に取扱はしめ、其税金は直に國庫に入るゝ事となしたりき、之が改良に伴ふ所の打撃は僅にありし也、然れども今日に於ては最早常態に復したるものゝ如し、目賀田時代より度支部に於ては金融財政に就て廣く地方一般に亘りて種々なる施設をなし、結果は兎に角其施設は極めて實際的に渉り居ることは余輩の大に喜ぶ所也。然るに不可思議なるは此等施設の實行されたる今日に於て地方の金融は却て逼迫を告るの變調ありと云ふ、余輩の接受せる幾多の情報によれば、度支部の盡力によりて地方に數多の銀行及銀行支店の設置されたるが爲に却て地方韓人間の金融は殆ど閉塞せるが如き觀ありと云ふ、今其理由を聞くに銀行の設置されざる以前に於ては勿論地方の富豪なるものは銀行預金の何たるを知らざるを以て自ら之を保管し若しくは鄕黨に貸付け居りたりき、而して彼等は如何なる方法に依りて貸付居りしか、其貸付には對物信用もあり、對人信用もあり、然るに對手は概ね其近郡村の人なるを以て其物も其人も能く知了せらるゝ所より圓滑に貸借は行はれ偶々誤なきに非ざるも、概して貸倒れ等の事なし、故に金融は常に之に依りて行はれたり、債權者も債務者も素より鄕黨の關係よりして相互に其節度を守るを以て面倒なる事端は起らざる也、如斯にして地方の金融は比較的圓滑に行はれ居りしが、銀行の設置以來富豪等は銀行に預金することゝなれり、而も安全に保管されて預金利子迄得らるゝを以て彼等が此擧に出るは當然なり、然るに借手の側よりすれば銀行に於ては以前の如く鄕黨の關係上より對物對人の信用を以ては容易に借ること能はず、銀行に對して之を申込むも、銀行に於ては擔保物及人物の調査も容易ならざる爲に融通するを危險に感ずるを以て自然金融閉塞の狀態に陷入るに至る也。惟ふに斯の如きは過渡の時代に免る可らざる現象なるべしと雖も、折角金融の便利を計らんが爲に設置したる金融機關が其趣旨に反する結果を見るは面白からず、故に地方の銀行は地方人と利害を共にし以て地方の發達に努むるべく經營をなさしむれば良好の結果を見るに至るべし、茲に注意すべき事は地方の事情に精通せざる飛入的の人物を以て其任に當らしめざる事也。序に金融組合に就て言はむ、該組合の諸所に設置されたるは喜ぶべき事なれども、余輩の聞く所に依れば其理事者が往々にして一部狡猾なる韓人の爲に利用せられ金融の利便が普く及ばざる恐れありと云ふ、當局者は素より誠意以て地方の利便を計らんとするものなれば勿論なれども、余輩の望む所は其金融の利便を計るに於て最大多數者の利便を標準とせられんことにて、敢て當局者に一顧を煩す。

東京電報

▲鶴原氏落選

日糖事件補缺選擧に於ける當選者左の如し
群馬(當選)中島祐八　同(次點)鶴原定吉　廣島(當選)早速整爾　千葉(當選)千葉禎太郎　栃木(當選)磯部四郎　神奈川(當選)土屋大次郎　靜岡(當選)伊東要藏　同(當選)河合重藏　（以上二十七日夜着）

▲新協約と世論

日韓新協約第一條の文面に依れば「司法監獄事務を日本政府に委託する事」は韓國を主体とせる片務的のものなれば一方の通知により直ちに該協約を破棄する事を得べく又第二條に韓人を在韓日本裁判所の官吏に任用することゝせるは帝國憲法に抵觸する嫌ありとの批難學者政客間に喧すし

▲京元線の經費

廿七日閣議を開き來年度豫算の件及び韓國京元鐵道布設の經費に就き協議したり

▲韓教科書撰擇

文部省は韓國實業學校教科書撰擇の委囑を受け調査中なりしが廿七日學部吏員出省し日本實業學校教科書及學校設備組織に關する調査書を受領せり韓國は之を韓譯して使用する方針なり

▲市原氏と總裁

澁澤男は從來の關係上市原總支配人を韓國銀行總裁に推薦したるに曾禰統監も同意すべき模樣なりといふ

地方電報

▲淸川江の增水

淸川江も二十七日來の雨にて大に增水流域の民家約百戸を流失せしめたり

▲大同江の汎濫

二十七日夜の大雨にて大同江出水し午前二時頃に至り愈甚しく家屋、木材、人畜の流失するもの夥し（二十八日着）

雜報

●豫備金の現狀

本年度に於ける豫備金は豫算に百五十萬圓なるが今日迄に支出せし總高は豫算不足の項目に補充せしもの九万八千五百五十四圓にして豫算外支出の總高百〇一万七千四百七十五圓なれば殘額三十八万三千九百七十一圓なるが此內三十五万六千九百七十二圓は別項記載の支途に充てられ居るを以て實際の殘額は僅かに二万六千九百九十九圓にして到底不足を免れざるより何れより支出すべきかに付目下協議中なりと云ふ

一金一萬五千圓　大韓病院患者費
一金五萬六千二百九十圓　暴徒鎭壓及郵便物警衛費
一金四萬八千圓　大臣警衛費
一金十五萬圓　地方行幸費
一金[illegible]萬七千六百八十二圓　監囚費其他
一金一万圓　獸疫豫防費
一金二萬七千圓　行幸費精算費
一金一萬三千圓　臨時宴會費

●關税收入額

最近五箇年に於ける韓國全体の關税收入額と仁川税關の收入額を比較對照するに左の如し昨紙言論に仁川税關の收入額を六十萬圓とせしは誤記なり

	韓國全体	仁川税關
四十一年	三、三五三、二九九	一、二五〇、四五五
四十年	三、一六五、三二九	一、三〇一、二二四
三十九年	二、一九〇、三三七	八九四、九四五
三十八年	二、二九三、二五〇	一、四二一、二二六
三十七年	一、八四五、三五〇	一、〇〇六、八六六

●地方費徵收見込

九月一日より施行の地方費法は既報の如く市場、客店、渡津税等を主とせるものなるが最も豐裕なる道にては一ヶ月の徵税額十二萬圓最少額地も六万圓內外に達すべき見込なるが三四年後には約二倍を徵し得べき見込なりと

●安奉鐵道の不通

鷄冠山二道溝間の橋梁流失せしため列車不通となりたるが開通迄には三四日間を要する見込なりと

●城津專管墓地免税

城津居留地專管墓地十五負に對する免税の件に就き其筋へ出願中の處去る二十四日許可せられたり

●次官局長交迭說

軍部次官韓鎭昌氏法制局長となり現同局長兪星濬氏は京畿觀察使に轉任すべく內定せりと傳ふ

●土地境界の交涉

既報の如く龍山民團にては京城民團の借入れたる軍用地に家屋の建築を許したる爲め兩者の問題となり日京城民團に交涉する處ありたり

●府郡合併と民心

府郡の合併は從來小なる郡又は地勢の便宜上より合併を決行したるが其結果成績稍良好なるも今後は地方民心を慮り必要止むべからざるものゝ外は合併せざる方針なりと

●一銀支店の存廢

一銀を韓銀に引渡すに就き多年の取引關係より安東縣を初め鎭南浦平壤等にても一銀支店の存續を申込む由なるも右は總會の上にあらざれば決定し難きものなれば來る三日東京に於て開かるべき總會に於て協議する由なるが多分は引渡と同時に成るべく支店を廢し僅に京城、釜山支店を殘す位ならんといふ

●家屋土地證明件數

隆熙二年度に於ける全南の家屋土地證明件數は土地賣買贈與交換千三百二十、家屋同三百九十九、土地典當八百二十九、家屋同二百七十七、土地所有權證明三十八、家屋同十一、合計二千八百七十四件なりと

●道繙譯官補の試驗

來る八月二十日內部警務局にて於中樞院構內に警察官練習所に於て韓人の道繙譯官補試驗を執行するに付き希望者は同十五日迄に試請願書及履歷書を同局宛差出す可しと

●殿下の酒肴料下賜

梨本宮殿下は內部警務局及警視廳所屬の警部巡査にして警衛の任に當りたる者に對し警部は二圓巡査は一圓の割合を以て酒肴料を下賜されたりと

●富籤購買の取締

富籤購買は刑法上禁止しあるにも拘らず韓國民の淸國彩票を購買する頗る多く益々僥倖心を增進する恐あるを以て今回松井警務局長は各觀察使に嚴重之が禁止をなすべく訓令を發したり尙日本人に對しても嚴重取締をなすべしと云ふ

●韓學童と衞生思想

日學童に對する設備と注意とは大抵遺憾なく見童ら自ら守る所なるも韓學童に至りては昨年來數回の訓示說諭あるに係らず從來の風習を改めざるもの多きが比較的病者を出さゝるは意外とする所なりと

●養成所生徒の請願

法官養成所學徒等は紛々の世說に惑はされ其將來に杞憂を抱くの餘り二十七日三十餘名の會合を城北洞の某所に催ほし卒業後の處置に就きて法部及內閣に請願書を上るべきことを決議したりといふ

●韓銀と貸下金

既報の如く韓國政府は韓國銀行に對し創立の際其の營業費を補助する爲め一箇年据置後十箇年賦にて百二十萬圓を貸下ぐる筈なるが右は目下大藏省預金部に預入れある一千萬圓（韓に興銀よりの借款金）の中より支出すべしと云ふ

●龍山民會と日韓瓦斯

二十七日午後二時開會の龍山民會にては日韓瓦斯電氣會社の鐵管埋設道路使用の許可條件に就き議する所あり甲論乙駁決定せざりしが結局議長は委員五名の選擧を宣し其結果大村、竹內、渡邊、兼古、三木の五名當選委員の互選にて大村を委員長に推したるが數日中に委員會の結果を報告する筈なり

●總會と引繼期

八月三日東京に於て開かるべき第一銀行總會に對し韓國支店の引渡方法殘務處分其他支店存廢等の問題を解決する爲市原支配人は廿日朝上京の途に就く等尙一銀事業引繼に關し目下進捗中なるも全部の引渡しを結了するは十一月末なるべしといふ

●大韓酒類釀造會社

今回日韓人合同して大韓酒類釀造會社なるものを設立する由なるが二十七日日韓の關係者集會し資本金を五万圓とし左の如き役員を置くことに契約成立したりといふ
監査員李容復、原敬一、社長崔晶圭、支配人最上義八郎、販賣部長秦學冑

●天溫間の道路狀況

溫陽に通ずる道路は約三里三十五[illegible]年四月下旬溫陽溫泉の株主なる網戶氏は橋梁其他の材料を支出し約三分の一を修築したるが偶々農繁期に入りたるを以て一時中止することゝなりしが今般溫陽溫泉株式會社に於て之れを修築することゝなり其豫算は一萬圓にして內五千圓は國庫の補助を仰ぐ筈なりと

●韓兵丁と救世軍

鎭衞隊兵士四十餘名は軍部廢止後の成行を心配し二十七日救世軍韓人秦任許嘉斗を訪ひ救世軍兵士として採用されんことを申込みしに許は解隊後ならば或は使用することあるも目下は隊に留まり居る方可なるべしと之を慰諭して立歸らしめたりと

●東拓の申請書

東拓會社に於ては先日農商工部大臣に對して申請書を提出したる由なるが其の主旨は韓國銀行の營業課目中「第四確實なる擔保ある貸付」と云ふ規定に就て自己の營業と衝突せざるやを恐れ同一政府の下にある大會社が同一の事業を爲すは共に不利益なれば注意ありたしとの事なりと

●銃器引揚の影響

暴徒蜂起以來其筋に於ては一般人民より銃器彈丸を引揚げたる結果近時各地方に虎、豹、熊等の猛獸の出沒するもの頗る多く爲めに人畜の被害少なからざるに且鹿小禽等の農作物を荒すもの又鮮ならざれば此際相當の取締を設け一般人民に銃器の使用を許す由なり

●東拓驛屯土水害

東洋拓殖會社創立以來同社の營業成績としては僅に金融部に於て四萬五千圓の貸出を爲せると東大門外の驛屯土三百四十町步の引繼ぎを了したるのみにて斯る有樣にては前途頗る心細き次第なるが今殘部驛屯土の引繼經過を聞くに目下黃海道鳳山方面の引繼手續中なるが同地は過日來の降雨にて引受くべき驛屯土は一面の湖水と化し今に減水せず被害の度甚しく今年は到底收穫を得る能はざるべきが此の實況を目擊したる東拓出張員は呆れかへり斯る土地を引受くる能はずと憤り度支部出張員も大に閉口し居れる由二十六日朝同地より歸來者は語る

●鴨綠江の大汎濫

二十八日其筋へ到着したる電報に依れば過日來の降雨にて鴨綠江は平水より二丈四尺增水し江中の諸島は何れも浸沒し樹木のみ見へ新義州は全部浸水船にて市中を往復しつゝあり理事廳にては炊出しを爲して救助中なりと尙鴨綠江の上流は二十六日より電信不通今後益增水の模樣なりと

●警備船の竣工期

韓國沿岸の警備に充つべき小蒸汽船は此程度支部と大阪三原造船所との間に注文契約成りたる由にて來る九月迄に竣工し釜山に廻航する筈なりといふ

●日韓製紙計畫經過

資本金五十萬圓を以て韓國有力者及び日本人の合同出資にて龍山に設立すべき同會社は一時進行運々たるの觀ありしも其後大阪製紙會社長眞島氏と在留邦人某々氏等との間に相談進行し近日同社長の來韓を待ちて發起人及び持株を定め發表する由なるが同會社は極めて有望にして充分年二割の配當をなし得る見込なりといふ

●商務組合と手數料

大韓商務組合にては過般來京畿道驪州地方へ支部長を派し各商人より二十錢宛の手數料を徵して加入を勸誘しつゝあるを以て其筋に於ては目下警戒中なりと

●新義州民會議員數

新義州理事廳にては目下民團に命じ在留民の再調査をなさしめつゝあるが其結果或は今回の撰出議員數も從來の八名を十二名に改むることとなるべしといふ

●南浦水產會社總會

資本金十萬圓の鎭南浦水產會社にては去る二十四日同社樓上に於て創立總會を開き舊會社の上半期決算報告及び現況に付ての報告あり後役員を選定して閉會したりと

●憲兵隊の常置請願

全州智島地方に於ては暴徒の出沒甚だしきに依り同地人民は憲兵隊の常設を希望し目下其筋へ交涉中也

●平壤日日新聞廢刊

平壤日々新聞は過日來休刊中のところ今回都合に依り廢刊する事となり白石主幹より二十六日理事廳に廢刊屆を出したる由

●大極教宗講究會

大極教宗にては去る二十五日北部松石院にて講究會を開きたり

●松井澤田兩氏歸任

梨本宮兩殿下御見送の爲め釜山に出張したる松井警務局長及曩きに公用を帶び東上中の澤田地方局長は二十七日夜歸任したり

●工藤局長の着任

過日農商務省より農商工部鑛山局長に轉任したる工藤英一氏は廿八日午後八時十分着列車にて着任せし筈

●法政大學校友會

法政大學校友會韓國支部にては同校總理梅博士の來京を機とし二十六日午後四時より龍山八景園に於て歡迎會を兼ね臨時大會を開きたるが席上荒井支部長より幹事の後任を中野有光、小田幹次郎、瀧口順二の三氏に委託し後宴に移り十二分の歡を盡し十時散會したりと

●釜東鐵輕起工進行

釜山軌道會社の東萊釜山鎭間輕便鐵道は其後着々土工を起し一は西上面にて韓人夫百名を使役し一は西下面にて百五十名從業せり募集株の證據金は已に拂込みを了し同時に株に對する第一回の拂込みを終る筈なり創立總會は起工の都合により來月一日開かるべき筈なるも多少延引するやも知れずと

●濯足會設立計畫

關東學舍員鄭純九等發起となり濯足會なるものを組織し同志相集りて時事談を爲し銷夏の法とせん計畫中なりと

●在外新聞發賣禁止

在米桑港新韓民報一三八號及び浦鹽發行大東共報四九號五〇號は七月二十日發賣頒布を禁止せらる

●敍任

統監府書記官岩井敬太郎氏は高等官四等に理事廳警視呼子友一郎氏は同六等に陞任せり

公人私人

▲入江貫一（樞密院書記官）巴城館へ投宿中二十七日釜山へ
▲白石元尊（財務官）牧野へ投宿中同日仁川へ
▲田中正身（京城控訴院書記官）廿七日東京へ出張
▲小杉薫（漢湖農工春川支店長）三日月に投宿中同日釜山へ
▲小林源藏（鐵道院參事）二十七日入京京城ホテル
▲辻太郎（同技師）同上
▲熱河內良（元京城民長）同上

近事片々

▲一昨夜椀大の火玉北より南に飛ぶ火尾連續して色彩極めて美也是れ抑も何の徵なるか將た所謂人靈なる者か其詐
▲流星 區々たり漢江々畔鍵屋と叫ぶ者なかりしか
▲韓人 高義駿なるもの國是遊說團を組織し產業國是を提唱して國民の反省を喚起す
▲彼れ 說て曰く日本の保護を脫離して韓國は自立するの力あるかとは頗る痛快
▲極東 の大勢上韓國は是非共日本の保護によらざる可らず是に反抗するは無謀也ど
▲今は 喰靜に產業の發達を計る一途あるのみと事理明瞭頑固連も反抗の辭なからむ
▲極東 平和の爲には日本は任意の行動を取る韓人は唯夫れ安じて日本に據らば可哉
▲大韓 協會も一進會も近來は殆ど火の消へたる如し若かず更に其結社を解かんには
▲徒に 朋黨相結で政治運動抔なす時代に非ず彼等は宜しく其手に鋤鍬を取るが肝要
▲政權 に憧がれ無爲徒食に其日を送るは韓人の惡癖之を改めざれば何時迄も貧國也
▲日淸 の風雲何どなく暗惰たりとの說あるが是れが抑も諸懸案解決の前徵ならずや
▲淸交 の外交は隙ども處まで行かざれば容易に解決せず霞ヶ關も漸く悟る所あるか
▲南淸 ボイコット一時下火となりしも此頃亦火の手上る是れ何者かの煽動ならんか
▲北京 政府の外交には常に裏面に策士附隨すと人を射んとせば先づ馬を射るべき也
▲佛國 新首相ブリアン氏未だ列國に聲名なかざるも頗る有爲の材幹ある新進政治家
▲身を 新聞記者より起し代議士となる前內閣に宗教大臣となり終に首相に迄進達す
▲宗教 分離案の立案者にして雄辨を以て名あり而も穩健なる社會主義者也との事也
▲古谷 久綱が人に嫉はる事が此頃諸新聞に散見する夫は實際也渠には親友なからむ
▲彼は 夫が爲か伊藤公を天にも地にもなき親方と心得熱心に仕へる故御機嫌に叶ふ
▲此頃 亦佛骨發見されしとて印度邊では騷ぐ古骨が何程發見さるゝも何等功德な!

●開城人蔘調査

度支部にては三宅博士に依頼し目下開城人蔘の[illegible]

●濟州島の椎茸

濟州島の漢拏山は[illegible]害なりと云ふ[illegible]十五年間同島に在留せる某邦人の言を聞くに[illegible]が韓民が火田を作る爲め年々樹林を侵し行くみにても五六千斤の巨額に達する程なるれども今日尙は森林面積は二萬町步に及ぶと目下邦人にして椎茸の養殖採取を業とするは藤田三榮組（愛媛縣人）あるのみなれ[illegible]て圓滑にして這は日本人の韓人に對する諸拂等の極めて確實にして毫も不法なる行爲なきもの重もなる原因なるが濟州島民の

●大同日報の創刊

太皇帝の遠戚なる洪鎭裕及安朔善氏等は大同日報なるものを八月一日より發刊すべく[illegible]尹柱瓚等なりと

●醫藥新報の創刊

中部[illegible]永基茂は中外醫藥新報と題する雜誌（月一回發行）を[illegible]

は改良を施す由なるが來月は廳舍の新築も竣成すべく依て新聞記者を招待して參觀せしむる由
シデ樹一面に繁茂し居るを以て松茸の發生多く同年九月頃に火田の爲めに侵蝕されし森林は相當の計畫を立て之に着手すれば必ず成功すべく同島に於ける日韓人の關係は極めてあるが如しと近頃同島よりの歸客は語れり非常しく同島民が一ヶ年間に拾ふもの林に頗る夥しく幅員一里以上に達せる所も
先般日本人なりとの傳說あるも亦大に關係其筋へ出願中の由なるが社員は洪氏社長安氏發行人、理事金教仁、編輯部長卞一、主筆



▲相談の相談▼
（何んでも御相談に應じ升）

◎問　筆硯益々御多祥奉賀上候、扨小生妻儀過般如何なる動機よりしてか言ふに忍びざる不埒相働らき今日にては多少知人間の問題と相成近隣の話頭にも上り候樣の始末なれども當人は既に前非後悔仕在候樣にも有之且つ多年の摒擋の勞を思ひ云へば一旦の過を以て無下に離緣も致し兼ね候然れども小生も多少地位を有し居り候者に有之候へば世間の手前忍び難き點もあり旁々躊躇罷在候此際如何に處置致し候事最も適當の措置なる可き哉御一考煩はし度事情開陳及御相談候也（一農士）

◎答　委細諒承せり、如上の煩悶を抱かるゝ士豈に足下一人のみならんや寡聞僕の如き者の記憶を辿るも猶七八子を算す、故に足下の相談せられたるを機會として忌憚なき意見を披陳せんに、妻君自身其非行を悔ひて足下に謝したりとせば寛容せらるべし、詰問に逢ふて辨疏の辭に窮しての悔悟ならば猶監視の必要あり、即ち未た遽かに油斷ならずと知らるべし、一旦の過ちを以て多年内助の功を沒するは不可なるべしと雖ども根本的の一過は百年の功勞も沒了して尚ほ餘りある、内助の功勞の顯著なるだけ更に宥す可らざる大過であると云ふを得る、千石の飲用水に數滴の油を加ふれば即ち奈何、上述の箇條に照して可否を決せらるべし、餘事ながら女子に必要なる貞操は男子にも必要であると云ふことを附記して置く（係）

◎問　私は中學の三年迄ゆきました者ですが只今では鐵道の驛夫をして居りますが此頃の暑さで堪え兼ねますが他に適當な少し樂な勤めは無いでしようか相談致します（一驛夫）

◎答　贅澤を仰有るものでムいません、暑いのは貴子一人に限ることか皆んな同じです、のみならず此の暑いのに飯も滿足に食べられないで困つて居る方も澤山ある、罰が當りますよ、此樣相談には應れない（係）

●八景園内の石器
▲仁川萬石洞の貝塚

去る明治三十七年三月末仁川觀測所長和田技師等一行の仁川に上陸して現今の觀測所々在地たる鷹峰峴を其用地に撰定したる當時同技師は同地の海面上二百三十尺もあるに拘らず其頂上に數多の貝殼あるを甚だ奇怪とし或は石器時代の貝塚には非らずやと考へ所員にも注意し置たる由なるが其後當川、玉木の兩技手は同所附近に於て各石斧一個を發見したることあり依て和田技師は構内其他に於て貝塚の所在を確め置き餘暇を以て其發掘を目論見つゝありしが一昨二十六日は先づ手始めとして同官舍八景園内の貝塚の發掘に取掛りしが僅々二時間餘にして採取し得たるもの數十個にして石斧、石刀、石鏃其多數を占め陶器も亦少からずと云ふ

●水道破損して大洪水
▲水道會社の注意を望む

一昨廿七日午後九時過南大門通り三好和三郎氏方前に當り水道の鐵管に故障を生じて噴水し忽ち附近は川と流れしかば早速水道會社に通告し會社より工夫等出張して應急の修理に着手せしも容易に止まらず遂に翌午前三時頃迄噴水を續け爲めに附近一帶は恰かも大洪水の如く一時は隨分騷動を演じたり其れに付き水道當局者は完全なる御簡を備へ置き今少しく速かに修理する方法を講ぜられたき者なり

●無頼の助平爺

仁川港碇泊中の漁船乘組員鶴見長一（四十）と云ふはなか／＼の助平爺にて仁川に歸る度毎に開花洞さては敷島臺下に出掛けて淫賣買ひをなす男なるが一昨夜も例の如く宮町三丁目の飲食店宮城野事千葉利三郎方に登り酒肴を命じて鱈腹飲酒したる後酌婦辰巳ちよ（二十）と云ふを捕へ同衾を迫まりたるも長一が餘りの助平にて彼れの意に添ふ能はざるより之れを拒絶したるものから長一は烈火の如く怒り出し覺ねて居ろとの一言を遺して立ち去りたる其足にて直に宮町派出所に至り去る二十四日自分宮城野方にてちよを二圓にて買ひたることあり宜しく御成敗ありたしとありたれば仁川署員は兎も角も昨日午前ちよを召喚したる所ちよは早や檢擧でもせられたるものと思ひ警察に至りし頃は持病の癪が込み揚げて宿直室に倒るゝ身となりしかば一方長一が虛僞の訴をなしたること判明したれば双方に說諭を加ゑて引下らしたり

●姦婦は役人の妻

日之出町藤勝組の近所さかに住居する官吏夫婦あり此家の一室を借りて是れ又某役所に通勤する男あり然るに此家の女房見掛けに依らぬ中々の不敵者にて何時しか同居せる某と情を通じ不義の快樂を貪るに至りしかれ人良しの御亭は更に氣遣かず役所より歸ると喚の御命を守り水を汲むやら火を燃くやら時々は御暇の湯巻の洗濯迄も爲し居れるがイッモ其の暇に噂左衞門大肌抜いで件の男の側に寄り添ひ散々巫山戲居る憎々しさは他所の見る目も氣の毒な次第なるが此御亭先般避暑旁々内地へ旅行したる爲め留守は誰とて憚る者も無ければ朝から晩まで思ふ存分巫山戲ての醜の醜を極め居れるを近所の者は餘りの事に堪り兼ねイッサ節へ飛出で說諭を試みんかと憤慨しつゝありさ

●魚に釣込まる

仁川萬石洞鐵道機管工夫佐藤新太郎の長男滿吉（十二）は一昨日月尾島鐵道路東端なる沿岸に腰を打ち掛けて獵をなし居たる所釣棹が藻に引き懸りたれば手にて之れを取らんとした機に足元に狂ひを生じ見る見る深所に落ち入り遂に溺死を遂げたりと子を持つ親は注意すべきことゝもなり

●戸締に注意せよ

近來の炎暑堪へ難きまゝ深夜まで戸を開けて凉を容れ夜の更くるに連れ知らず／＼戸を開きたる儘寢に就く爲めに盜難に罹る者頗る多く其筋に於ては警戒怠り無きも一々各戸に付き注意する譯にも行かざれば此際各自戸締に就き充分注意あり度き旨某當局者は語り居れり

紳士の遊興振



▲曾禰寛二君

西湖先生の息にして伯芳川の養嗣子となるべき君は他の權門の公達と進學校時代に於ては他の諸生と角逐して遜色なく高等學校を終りたる後普通の者なら進んで大學に入り例の政治經濟を修めて他日大政治家たらん事を希望する筈だが君は群生と其見を異にし高等學校を終ると共に實業に志し既に父君の渡韓せられざる前單騎當地に來つて瓦斯の權利を獲得した續いて人も知る如く君の謀、圖に當りてコールブランの電氣會社をも買收して昨今の發展をも見るに至つた、事業に就て非凡なる識見と手腕を有する君は其齡未だ而立に達せず與に君を知らざる者にはアレが日韓瓦斯電氣の曾禰さんかと疑はしむる位である、君の父君西湖先生は世人の知る如く大通人で養父たるべき顯正伯又れ國自慢の義太夫通で加ふるに將棋は二段の免許取である、されば君は何に仕へても無藝大食では濟まぬ筈である然るに氣の毒にも君又兒玉伯と同樣不肖の兒にして風流道に掛けてはトント不具である尤も酒も呑み妓と戲むる事はあるもまだ是れと云ふて熱心に仕込んで吳れる者の無い爲めか唄一つだに座興に唄ふ事は出來ぬ併し根が實業に志す位だから中々座敷の會話に如才なく言ふ愛嬌●●●を以て人に快感を與へる勿論世間ありふれの俺の親父が杯と云ふ臭味はオクビにも出さない會て君は琵琶の好きな點から●●つや掛つた疑を受けた事もあるが其れも其眞僞はドウヤラ判らぬ只、程の宜い若旦那として悶惚れして居る者が一人にして止まらぬと云ふから御用心が肝要だ…

次は林東拓理事

●旭町の珍音曲

近頃旭町一丁目邊を宵の内通行するとドコヤラの舍宅又は某紳士の邸等外數軒にて揃ひも揃つて謠曲の素謠會開かれ頗る賑かなるが其れに一方高野山には木魚の音高く讀經の絶ゆる間なく爲めに諸曲の節廻しは木魚の音に調和して諸でもなく經でもなく一種の珍音曲を聞くの感ありと聞いた人の物語り

●一昨夜の怪光

苦熱室を蒸して悶々眠に就く能はず人は各々戸外に出でゝ夜間の凉味を貪りつゝある一昨夜十一時半頃突如として一道の怪光は北より南に向つて閃走したり只見れば其の形狀は椀大の魂光にて清澄水の如き空に五彩ののろしを泛べ頗る美觀を呈せしが右ののろしは約三分間位明滅し後に消ゑ失せたり内地の酷暑近年になき昨今是れ果して何の兆なるぞ

演藝



▲歌舞伎座●●●　彰義隊愛澤一座は日増しに好景氣を呈しつゝあるが本日第九回目の替りは『五月晴』全九場にして重なる役割左の如し

藝妓梅家妻吉（西井）紳士吉岡（本田）熊井元吉（桂木）愛妾種子（河野）下僕權平（角村）幇間〇丸（玉川）本妻増子（中村）用達星三治（大和）紳士村島吾八（開宮）遠山新三（松村）中居小光（小谷）花見一夫（小神）親族島澤（天草）黒川實（愛澤）親族藤村（三島）熊井傳藏（美風）花見武夫（篠崎）

食道樂

▲旭ずし●●　僕は自慢ぢやないがすしと來たら小便臭ひ山の神のれ手製りの五もくずしでもよいのだ香温かい飯へ唯酢を打つ掛けたのでも辭さない、況んや商賣人の手になつた夫れには殆んど目がない、夫れ程好きである丈け美味い不味いの鑑定も達者だ、夫れで所々のを食ひ比べて見るに大した優劣はないが就中旭ずしが良いと思ふ、酢の加減と云ひ誂へて持つて來るのが早いのと云ひ、諸君一度は試して見玉ゑ、序に云ふ電話は四百九十五番（酢道樂生投）

△此の種の投書を歡迎す



◀平民文庫▶

▲電話三三三番即ち第一銀行臨時建築部の○○さん西小門通りの日の出のれすねかれ前さんの顔を一日でも見ずに居ると凉しいと云つて居たよ、（素見客）▲本町六丁目郵便所の記事有之右は今に始まらぬ事生等は同所附近に住居のものなれども態々本町四丁目迄往きます同所の所長並に噂左衞門所員一同の横柄さ加減實に嘔吐を催します便宜の爲に設けられたる郵便所が却つて不便利さなる何卒改良の功顯はるゝ迄充分なる御鞭撻相願申上候（本町七丁目立腹生）▲女郎屋稼業の様な飲食店は良家の間に介在させられては實に困る夜遲く迄キャッ／＼とトチ狂つて二時三時迄眠れやせぬ（困却生）▲仁川の市民は一般にれ柔順くつてれ居でなさる活動寫眞の興行の爲めに市中一般の催氣に幾分異常あるべき心配するに及ばずと斷られてアー左樣で御座いますか夫れなら安心と濟まして御坐るた育ち柄にも似合はないホントにれ柔順くつて居らつしやる、嫁を貰うなら仁川の方のれた娘子を（開花洞）▲警察官慰勞大園遊會に一つ各新聞計畫起となつて擧行せられては如何です（贊成者）▲武力屋の時計問題に就き能知生の投書は面白半分の揄揶而だが罪が深いから本日のは沒とする（係）

●社告

京城市内で音樂其他遊藝等の教授を爲す人は至急其住所を御一報あれ相當紹介の勞を執るべし

京城新報社

▲本社編輯局から眞直に見へる何んとか活版所で家根を二三日前から修繕して居るのに此の照り付ける日中を支那人が平氣で屋上に立ち働いて居るのを見ると一日二回か三回の通信取りに往復するのに暑い／＼と泣言を云つた自身が耻かしい（給仕）▲曾禰統監の御病氣は京城では發表せられないで東京に知れて居る（不審生）▲演藝會や芝居の招待券はれ情け的のものだ商品切手的のものた優待せざる可らざる性質のものでありながら冷遇する（への字）▲新町の稻荷樣の祭禮を三日計り賑々敷擧行して景氣を付けないか而して此れに井門の藝妓連の歌舞伎座に揮へなかつた腕を掛け舞臺に揮つて貰う事とするサ井門の爺つあんの金快睨い（紅）▲過般貴紙にて「不正なる局員」と題して筆誅せられたる局員は免せられた然るに一方此れと結托して不正輸入をなしたる某商店の店員は依然として居る店主たるものは世間に對し又局に對し更に店規を肅清する爲之を解雇する必要なきや（忠告生）



●配達出張　…すべく目下其筋に手續中なりと　午後七時三十分

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

▲無料紹介欄▼

人事部

●中等教育有る廿七の青年報酬多きを不望會社、商店に雇はれたし 氏名在社(三〇一)
●年卅五多年電氣工務(又簿記精通)の經驗有り市內保證人有り相當處に雇はれたし 氏名在社(三〇二)
●簿記に精通の中等教育ある二十才の青年會社銀行店舖等に雇度給料不望保證人あり 氏名在社(三〇四)
●小僧入用 十四歲以上十七歲以下のもの一名至急入用委細面談 大漢門前遠藤洋服店
●下女入用 十六七歲より廿三四歲迄のもの數名入用 南大門通 紅葉
●行商人募集 石油行商人二十五歲以下身体强壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談 龍山元町三日韓組(三〇七)
●英文代書 通譯飜譯 本町一の七五中村
●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店裏武田質店(四一〇)

物件部

●夏向露店 旭町一民團役所燒跡附近に夏向恰好の露店二箇所あり希望者は至急申込あれ 氏名在社(二九五)
●商店格安賣物あり 氏名在社(二九六)
●電話讓渡 格安又は月賦讓渡の相談に應ず 氏名在社(三〇〇)
●製繩機械廿臺○繩綯機械○藁打機械一臺安價に賣却す大和町一の二二九 渡邊方山本
●中古寫眞器一揃一個格安に賣却したし 氏名在社(三〇六)
●地所賣却 第一銀行建築場に接近せる道目貫の場所に有望なる地所家屋賣物あり 本町一の七五 中村
●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一一)
●賣却讓渡 理髮店向長谷川町二の一九目貫場所家賃十五圓道具一切格安讓渡たし如何なる相談にも應ず長谷川町二の一九二井出

廣告

銘酒 

仁川港 釀造元 大森酒塲

韓國一手發賣元 (N) 永島商行 京城日の出町一丁目 (電話架設中)

●●●滋養と牛乳●●● 純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧塲 電話壹〇六九番
馬車配達 ●●●衛生と消毒●●●



移轉に付き メチヤ〳〵大安賣 廿四日より當分の內壹足に付定價の 一圓引
店舖御望の方は造作附讓たし
御賣は特に御相談可申上候 京城本町六丁目 富田第一支店

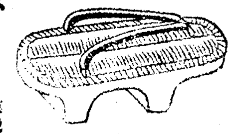
處方調劑の依頼に應ず 京城南大門通三丁目 新井藥房本店 藥劑師 小松禎三

土管瓦煉瓦

土管 陶榮商店の販賣する土管は模範的工塲に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり
瓦 陶榮商店の販賣する瓦は同工塲最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり
煉瓦 陶榮商店の販賣する煉瓦は同工塲最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり
右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候
陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌 土管瓦煉瓦販賣元 (肥) 京城本町二丁目 陶榮商店 (電話百十三番)

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す牧塲夙に此に留意し好良の食料を給す

京城本町五丁目(電四七番) 販賣元仁川松尾支店 京城東四軒町(電七五番) 搾取所 松尾牧場
●牧塲搾取の牛乳を受飲せらるゝ御諸君に最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

東京 
正札付 大安賣 厘も引なし 安心して買へ升
本店東京 京城大和町一丁目 日の出橫 藤井出張店

店舖改築ニ付 破格大賣出し

各位益々御清祥奉慶賀候弊店儀兼テ特別ノ御引立ニ預リ御蔭ヲ以テ日ニ隆盛ニ赴キ從來ノ店舖ニテハ狹隘ニシテ御滿足ヲ計リ兼候ニ付今回業務擴張ノ爲メ一時休業ノ上店舖改築可仕候就テハ左記ノ通リ各位ノ御厚志ニ酬ユル爲メ特別大勉强破格大賣出し仕候間何卒御來遊多少共御買上ゲノ程奉願上候

一 自七月廿六日 至八月四日

正札より 二割引

其他見切反物並に よせ切に限り割引なし

京城本町四丁目 (山口) 君ケ代足袋發賣元 山口呉服店 電話九番

官衙御用品調達 各學校御用品調達

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

東京火災(海上運送)保險株式會社
明治廿年七月創立● 京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

(大)(へ)(萬) 自製特約販賣
漬物 味噌 醬油 製造元
和洋酒、(回)精酎、穀物麵類銘茶鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候
京城本町五丁目 水上商店 (電話二五一番)

消毒 殺菌 元祖 牛乳・千山牧場 京城大和町壱丁目 電話一三三

東京產婆學校卒業 產婆 莊野キス 龍山十五間道路 鐵道官舍十六號一

▲清潔の下宿▼ 客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
▲懇切の下宿▼ 壽町二丁目十番戶橫小路(元花屋跡) かめ屋

日本郵船株式會社 仁川 出帆廣告 貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 八月一日午後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 八月五日正午時出帆
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 八月十七日午前四時出帆
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月廿六日正午
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 七月
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止塲ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金付五十錢▲三ヶ月前金壹圓四十錢▲六ヶ月前金貳圓▲壹ヶ年前金四圓
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金二十錢▲(以下判読困難)
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久太郎
發行所 京城新報社 京城西大門通 電話六六三番